

平成27年度 第1回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成27年6月17日 県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	島袋秀勝 下里哲弘 友知政樹 古荘みわ 宮城初枝 真喜屋治 榎本拓也 友利清和	
審議対象期間	平成26年12月1日 ~ 平成27年3月31日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容 及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 332件	総件数 98件
一般競争入札	99件	8件
総合評価	51件	16件
指名競争入札	156件	60件
随意契約	26件	14件
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申の内容	なし	
その他の意見	特になし	

平成27年度第1回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 抽出事案一覧

1. 建設工事 抽出事案

一般競争入札		
工事名	工種	担当課・所
中城公園整備工事(H26-2)	土木工事	中部土木事務所

総合評価方式		
工事名	工種	担当課・所
宜野湾浄化センター汚泥脱水電気設備工事(その1)E14	電気工事	下水道課

指名競争入札		
工事名	工種	担当課・所
沖縄県立武道館アリーナ棟フロアコーティング改修工事	塗装工事	スポーツ振興課

随意契約		
工事名	工種	担当課・所
国道331号災害復旧工事(平成26年災10号)	土木工事	北部土木事務所

2. 建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理の業務 抽出事案

一般競争入札		
業務名	業種	担当課・所
具志川高校屋内運動場及び武道場改築工事設計業務	建築関係建設コンサルタント	施設建築課

総合評価方式		
業務名	業種	担当課・所
沖縄都市モノレール現場技術業務委託(H26-5)	土木関係建設コンサルタント	都市モノレール建設事務所

指名競争入札		
業務名	業種	担当課・所
山底地区農用地造成測量業務(H26-1)	測量	宮古農林水産振興センター 農林水産整備課

随意契約		
業務名	業種	担当課・所
県道153号線外1線街路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託(H26その3)	その他	南部土木事務所

平成27年度 第1回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「宜野湾浄化センター汚泥脱水電気設備工事（その1）E14」の応札者が1者しかおらず、落札率100%の理由について教えてください。</p>	<p>A 1 参加資格要件においては「日最大 33,000 m³以上における終末処理場における電気設備工事を元請として施行し、また自社で製作した機器の保有」という条件を設けているが、対象となる業者数は58者あり、比較的参加しやすい形となっているが、今回の応札は1者のみであった。今回の積算は事前に大手5社より見積りをもらい、積算を行ったが、比較的わかりやすい数字となってしまったため落札率も100%になったのではないかと思います。</p>
<p>Q 2 電子入札においては、何者が図面等を入札前にダウンロードし、実際入札したかについて分析できると思うが、行っているか。</p>	<p>A 2 設計図書は入札情報サービスからダウンロードを行っていただいておりますが、件数の確認を行っておりません。</p>
<p>Q 3 「沖縄都市モノレール現場技術業務委託（H26-5）」について、技術資料のヒアリングは行われているか。</p>	<p>A 3 辞退した業者を除く全ての業者に対してのヒアリングは行っております。</p>
<p>Q 4 「国道331号災害復旧工事（平成26年災10号）」について、何度も災害が起きている地点について復旧ではなく、廃道にして、バイパスを利用した方が良いのではないか。</p>	<p>A 4 路線バスが運行する生活道路であり、廃道は考えておりません。廃道については、地元の合意が得られないとできないのが現状です。</p>

Q 5

災害復旧の緊急度が高い結果になったのにも関わらず、不調入札を繰り返し最終的に随意契約にいたるのであれば、最初から随意契約を行うことは可能ではないか。また、随契以外の契約方法で最短な契約はないのか。

Q 6

「県立武道館アリーナ棟フロアコーティング改修工事」について辞退者が多い指名競争となっているが、地域に限定して行う必要があるのか。

Q 7

「県道 153 号線外 1 線街路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託（H26 その3）」については那覇市が落札率 100%で契約しているが、市町村の見積もり価格そのまま契約を行うのか。

A 5

受注者の機会均等という点を考慮したこともあり、入札を実施しましたが、災害の規模等によっては随意契約で行うべきであったケースかもしれません。

災害復旧については国による災害査定を経て、災害復旧事業の摘要を受ける必要があるが、査定前に手当を要する場合には、単費（予備費）を使って応急措置を行っております。

A 6

内容が塗装工事であり、格付区分におけるランクはD対象ではありますが、数が少ないため、那覇市のCランクの業者を入れることにより少しでも多くの業者に参加いただきました。

今回は那覇市の業者で十分対応できるので、那覇市限定となりました。

A 7

沖縄県の埋蔵文化財の発掘調査は「沖縄県埋蔵文化財発掘調査基準」に基づき、県または市町村教育委員会が実施することになっております。

積算については那覇市から見積もりを頂き、その内容を精査して設計金額を立てております。

今回の内容については見積もり内容の変更がないケースであったと考えます。